



第 61 期

中間報告書



製品名：バリアフリーペイブ（今治新都市スポーツパーク）

日本興業株式会社

株 主 の 皆 様 へ



代表取締役社長

多田 綾夫

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このほど本年4月1日から9月30日までの当社グループ第61期第2四半期の営業概況がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

四半期連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末
《平成27年9月30日現在》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額	科目	金額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【 流 動 資 産 】	6,314,421	【 流 動 負 債 】	6,848,492
現金及び預金	1,112,097	支払手形及び買掛金	1,499,271
受取手形及び売掛金	3,379,273	電子記録債務	885,264
電子記録債権	188,054	短期借入金	3,852,532
商品及び製品	1,227,801	未払法人税等	33,688
仕掛品	81,896	未払消費税等	32,142
未成工事支出金	8,072	未払費用	112,407
原材料及び貯蔵品	201,853	賞与引当金	100,890
繰延税金資産	75,478	その他	332,296
その他	45,445	【 固 定 負 債 】	1,117,533
貸倒引当金	△ 5,551	長期借入金	827,378
【 固 定 資 産 】	7,801,482	繰延税金負債	3,530
有形固定資産	6,985,850	退職給付に係る負債	65,904
建物及び構築物(純額)	1,238,981	その他	220,719
土地	4,885,499	負 債 合 計	7,966,025
その他(純額)	861,369	(純 資 産 の 部)	
無形固定資産	200,806	【 株 主 資 本 】	5,929,320
投資その他の資産	614,825	資本金	2,019,800
投資有価証券	519,731	資本剰余金	2,016,609
その他	128,222	利益剰余金	1,967,235
貸倒引当金	△ 33,128	自己株式	△ 74,324
		【その他の包括利益累計額】	220,557
		その他有価証券評価差額金	160,532
		退職給付に係る調整累計額	60,025
資 産 合 計	14,115,903	純 資 産 合 計	6,149,877
		負 債 純 資 産 合 計	14,115,903

四半期連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間
《平成27年4月1日から平成27年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額	
売上高		5,335,790
売上原価		4,514,114
売上総利益		821,676
販売費及び一般管理費		894,677
営業損失(△)		△ 73,001
営業外収益		
受取配当金	6,221	
受取賃貸料	12,111	
工業所有権実施許諾料	9,541	
雑収入	16,269	44,144
営業外費用		
支払利息	15,182	
賃貸費用	3,082	
雑損失	2,837	21,102
経常損失(△)		△ 49,959
特別利益		
固定資産売却益		16,932
特別損失		
事業整理損		12,987
税金等調整前四半期純損失(△)		△ 46,014
法人税、住民税及び事業税	25,758	
法人税等調整額	△ 28,669	△ 2,911
四半期純損失(△)		△ 43,103
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△ 43,103

四半期連結包括利益計算書

当第2四半期連結累計期間
《平成27年4月1日から平成27年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科目	金額
四半期純損失(△)	△ 43,103
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△ 13,400
退職給付に係る調整額	△ 6,892
その他の包括利益合計	△ 20,292
四半期包括利益	△ 63,395
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 63,395
非支配株主に係る四半期包括利益	—

ハイライト情報

連結経営指標等

単位 千円(単位未満切捨)

回次	第60期 第2四半期 連結累計期間	第61期 第2四半期 連結累計期間	第60期
会計期間	自 平成26年 4月1日 至 平成26年 9月30日	自 平成27年 4月1日 至 平成27年 9月30日	自 平成26年 4月1日 至 平成27年 3月31日
売上高	4,876,531	5,335,790	12,765,535
うち 土木資材事業売上	2,954,885	3,087,208	7,697,982
うち 景観資材事業売上	1,302,863	1,574,764	3,745,065
うち エクステリア事業売上	618,781	673,817	1,322,488
経常利益又は経常損失(△)	△ 71,015	△ 49,959	311,469
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)又は 親会社株主に帰属する当期純利益	△ 56,377	△ 43,103	171,719
純資産額	5,933,704	6,149,877	6,271,725
総資産額	14,203,504	14,115,903	15,822,610
1株当たり純資産額 (円)	406.85	421.69	430.02
1株当たり四半期純損失金額(△) 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	△ 3.87	△ 2.96	11.77
自己資本比率 (%)	41.8	43.6	39.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	791,141	997,023	575,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 84,181	△ 71,341	△ 135,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 642,755	△ 742,226	△ 406,752
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	959,303	1,112,097	928,641
従業員数 (名)	296	324	298

事業紹介

当社グループはコンクリート二次製品の製造・販売を通じて「美しく豊かな環境作りに貢献する」ことを経営理念としており、「環境との共生」、「景観との調和」をキーワードに、土木資材事業、景観資材事業、エクステリア事業の3事業を展開しております。

土木資材事業 【環境との共生】

道路、河川、下水、宅地造成などにおける各種土木製品の開発、生態系を含めた環境製品開発、景観、緑化と融合した製品開発はもとより、防災・耐震性を考慮した製品開発へと展開しております。



製品名：遊水池ブロック（高松市民病院）

【第2四半期連結累計期間の状況】

本年度に入り発注物件の減少や遅延などの影響を受けるも、四国における大型物件の進捗により遊水池などの貯留・防災製品が大きく売上が伸ばしたほか、東北における震災復興物件においても、高台移転による宅地造成に用いられる擁壁製品や水路製品が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は30億87百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

景観資材事業 【人にやさしい環境】

公園、ニュータウン、各種公共施設などに、舗装材を中心とする水平展開から、ファニチュアの垂直展開まで幅広く製品をコーディネートし、提供しております。

人と自然にやさしい空間づくりの提案、共感の得られる環境製品の提供と、次世代まで引き継がれる豊かな公共空間の創造に努めております。



製品名：舗装材 SAZARE 保水タイプ（品川シーズンテラス）

【第2四半期連結累計期間の状況】

営業推進部による仕様化や設計折込みが順調に進捗したことにより、主力製品であるバリアフリータイプや透水・保水タイプの舗装材が東日本を中心に大きく売上が伸ばし、擬石ファニチュアも好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は15億74百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

エクステリア事業 【快適空間】

街並みに調和する外構づくり。
個性を演出するエクステリア。
個人住宅から店舗用製品まで幅広いジャンルで製品を提供し、ガーデニング関連、ペット関連等新たなテーマを掲げ、快適な空間づくりを追求しております。

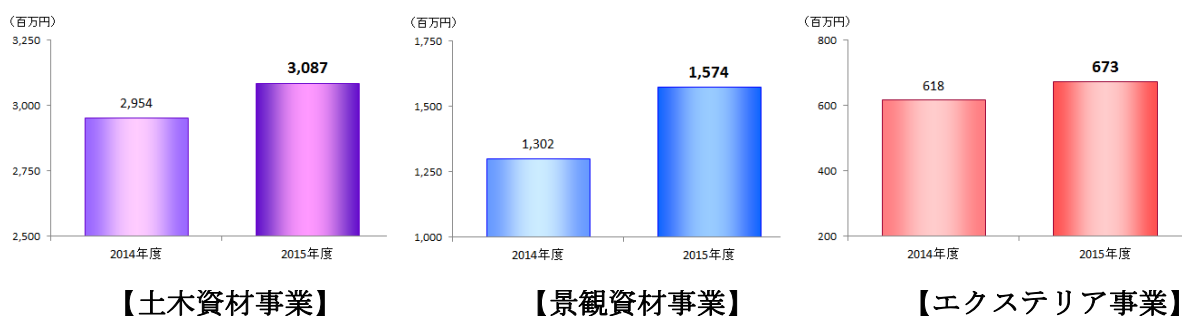


製品名：ガーデンシンク ショートタイプ ロ・コ・コシャベット

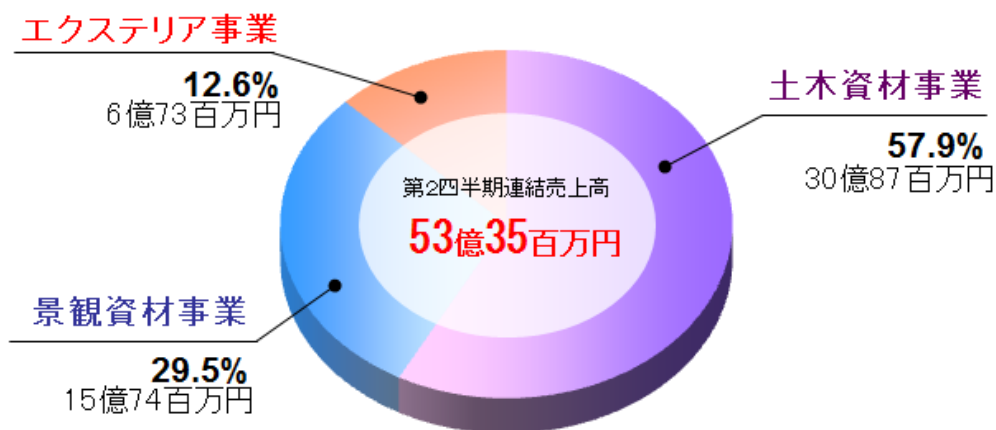
【第2四半期連結累計期間の状況】

住宅関連市場において需要の回復の兆しが見られるなかで、製品の品揃えを図るとともに、エクステリア製品の販売部門を担当する連結子会社のニッコーエクステリア株式会社においてハウスメーカーへの拡販を推し進めた結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は6億73百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

セグメント別売上高の推移（連結・上半期）



セグメント別売上高の構成（連結・上半期）



株式の状況

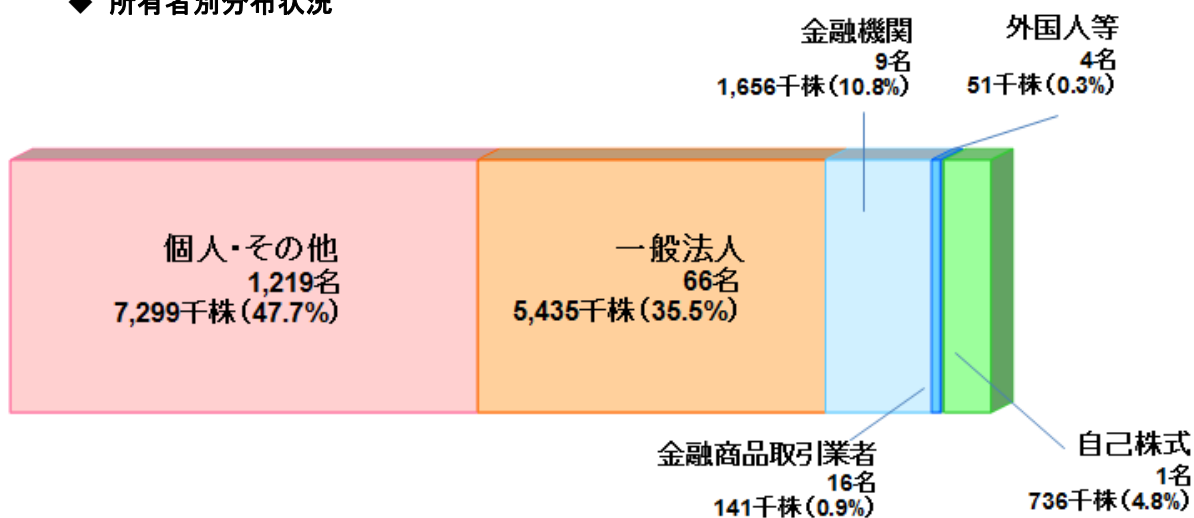
《平成 27 年 9 月 30 日現在》

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式総数	15,321,000 株 (自己株式 736,976 株を含む)
株主数	1,315 名

◆ 大株主

株主名	持株数 (千株)
積水樹脂株式会社	3,450
ニッコー共栄会	1,490
ニッコー持株会	654
宇部興産株式会社	556
株式会社伊予銀行	391
アサノ産業株式会社	361
中山 盛雄	336
株式会社香川銀行	262
河合 保明	242
株式会社商工組合中央金庫	216

◆ 所有者別分布状況



会社概要

《平成 27 年 9 月 30 日現在》

社名	……………	日本興業株式会社
本店	……………	香川県さぬき市志度 4614 番地 13 電話 087-894-8130 (代表)
ホームページ	……………	http://www.nihon-kogyo.co.jp
設立	……………	昭和 31 年(1956 年)8 月 10 日
資本金	……………	2,019,800,000 円
従業員数	……………	255 名

役員

《平成 27 年 9 月 30 日現在》

《取締役・監査役》

※ 代表取締役社長	多田綾夫
取締役会長	武田均
※ 常務取締役	藤田諭
取締役	菊池友幸
※ 取締役	山口芳美
※ 取締役	田中澄夫
※ 取締役	川人秀昭
常勤監査役	松山哲也
監査役	河原林隆
監査役	新名均

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

《執行役員》

執行役員	秋山修二	執行役員	金子弘朗
執行役員	乗松伴成	執行役員	佐藤栄作
執行役員	小島謹治	執行役員	三輪武志
執行役員	久保淳		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会…… 3月31日 剰余金の配当……期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 http://www.nihon-kogyo.co.jp/koukoku.html
単元株式数	1,000株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。